



すすんで学ぶ
心豊かな子
たくましい子

中宮

令和4年6月1日
第635号
枚方市立中宮小学校
校長 池原 義人

子ども達の楽しみ、取り戻しつつあります

校外学習も、水泳授業も、実施します

昨年度まで2年連続で水泳授業を実施することができませんでした。3年生は、入学以来はじめて水泳授業を体験することになります。本来なら1・2年生で水慣れをして基本技能を身につけ、3年生から本格的な泳法を学習するはずでした。他の学年においても1・2年生は3年生と同様に水泳授業初体験、高学年についても2年間のブランクがあります。



まずは、児童の発達段階に応じた、安全確保につながる指導を実施いたします。また、教育委員会指示のソーシャルディスタンス(2m)を確保するために学年単位ではなく、クラスごとの授業とします。プールサイドでは、子どもたちの立ち位置にマーキングもして準備しました。更衣の仕方、授業の進め方も安全配慮第一に進めてまいりますので、保護者の皆様のご理解よろしく願いいたします。



校外学習もすでに実施しております。5月には4年生が、東部清掃工場・中宮浄水場への社会見学に行きました。6月には、その他すべての学年が校外学習実施予定で、5年生はマキノ高原への宿泊学習へ行く予定です。まだまだ油断はできませんが、以前のように水泳や校外学習を存分に楽しんでもらいたいと考えています。

「参観やからってかっこつけすぎやわ〜」

世の中で一番ひどいじめは人を無視すること、その場にいるのにいないかのように振舞われることはとても辛いことです。それは、人の存在を無理やり消しているからです。「死ぬ」とか「消えろ」のように、人間として絶対に口にすることはできないことを言っているのと同じことだと、これまで何度も教え子に指導してきました。

その真逆にあるのが「あいさつ」です。おはようございます、こんにちは、こんばんは、は「そこに、あなたがちゃんといますよ」と伝えることだから、相手より先にあいさつしなさいと言ってきました。前年度、中宮の子ども達にも同様の話をしました。それから1年以上の時間が経過しました。自分からしっかりあいさつできるようになった児童がたくさんいるのですが、未だにあいさつの返ってこない児童もいます。はずかしいのかな。

5月28日(土)朝のこと、「先生、参観やからってかっこつけすぎやわ〜」参観日に合わせて身なりを整えてきた先生を、児童が冷やかしていました。からかわれた先生も、その意味を説明することなく苦笑いで返していました。なぜいつもと違う服装なのか、児童が自分で考えてみるのも大切な学習かもしれません。

今、学校が大切にしている「あいさつ」「そうじ」「時間を守る」は、「時を守り、場を清め、礼を尽くす」からきています。自分自身の人生である自分の時間を大切にするとともに、時間に遅れることで人の人生(時間)を奪ってはならないということ。掃除や整理整頓



をして自らの心をきれいにするとともに、汚く乱れた荒みを人の心に見せてはならないということ。あいさつで、姿勢や態度で、服装で、相手を敬い大切にすること。「時を守り、場を清め、礼を尽くす」の意味は、このようなことではないかと勝手に解釈しています。

自分でしっかり考えた末に、「時間・そうじ・あいさつ」をないがしろにするのなら、ある意味よいのかもと思います。「時を守らない、場を清めない、礼をつくさない」にこだわるのなら、と言ってもよいのかも知れません。ただ、こだわってそうしているのなら覚悟が必要です。それをずっと許してもらえ環境(家庭、学校、職場など)でいられる人もいますが、普通は家庭〜学校まで許されなくなることが多いでしょう。そのときになって、ここまで頑固にこだわっていたけど「や〜めた!」と心変わりできるのなら、要領よく変身するのなら問題ないです、あまりにも都合のいいこだわりだとは思いますが・・・

それができないのなら、こだわりにこだわっているのなら早めの改善が必要ではないでしょうか。

ちょっとお子さんとの話のネタにしてもらえると嬉しいです。

1名欠員のままで

先月の校長通信でお伝えした通り、4月から教職員1名欠員のまま学校運営を進めています。もともと産休予定教員の体育授業等にかかる代替教員だったのですが、当該教員には何の補助もないまま勤務し続けてもらい6月7日(火)より休暇に入ることとなりました。子ども達が元気に活動するのが学校、ときには校舎内を走りまわっているところを注意することもあります。ここまで事故がなくてよかったと、胸をなでおろしています。

ただ、前年度より1クラス増えたのに、前年度より教員数が1名減ることになります。かなり厳しい状況ではありますが、できる限り子どもたちに不利益が及ばないように努めますので、ご理解のほどよろしく願いいたします。

小学校教員採用試験の倍率が、2000年度には全国平均で12.5倍だったのですが、2021年度には2.6倍に下がったそうです。もちろん講師登録も減り続け、現在ほどの自治体も全くないというのが現状だそうです。やりがいのある仕事なのに、ここまで人気のない職業になってしまったことが残念でなりません。この状況に負けることなく、子ども達には「楽しくカー杯」働く姿を見せていきたいと思っています。

第1回学校運営協議会

枚方市の小学校は、コミュニティ・スクールです。コミュニティ・スクール(学校運営協議会制度)は、学校と地域住民等が力を合わせて学校の運営に取り組むことが可能となる「地域とともにある学校」への転換を図るための有効な仕組みです。コミュニティ・スクールでは、学校運営に地域の声を積極的に生かし、地域と一体となって特色ある学校づくりを進めていくことができます。

前年度も、地域の皆様と力を合わせて「50周年記念式典」を開催しました。本年度は、5月28日(土)土曜授業の日に第1回目の学校運営協議会を実施しました。学校運営協議会は、学校選出・地域選出・PTA選出の構成員数名で設置されています。この日は、全教室の授業視察の後、本年度の学校運営方針や現在の課題について校長より説明し、助言をいただきました。

【お詫び】

令和4年5月20日(金)の給食について、本来提供予定であった「ごはん」において衛生環境に関する情報提供があったことから、子どもたちの衛生面を考慮して、急遽、「ごはん」の提供を中止いたしました。主食である「ごはん」なしでの給食となり、お腹を空かせたまま午後の授業になった子ども達もいたようで、とても申し訳ないことをしました。現在は、精米事業者を変更して提供しております。また、この精米事業者に対しましては、精米を購入している近隣市の教育委員会とも連携して、現地確認等を含め対応しています。誠に申し訳ありませんでした。

